

男 306,022名
女 311,567名
計 617,589名

ELECTION

～せんきよ
《明選だより》～

ELECTION (エレクトション) とは、英語で「選挙」の意味です。

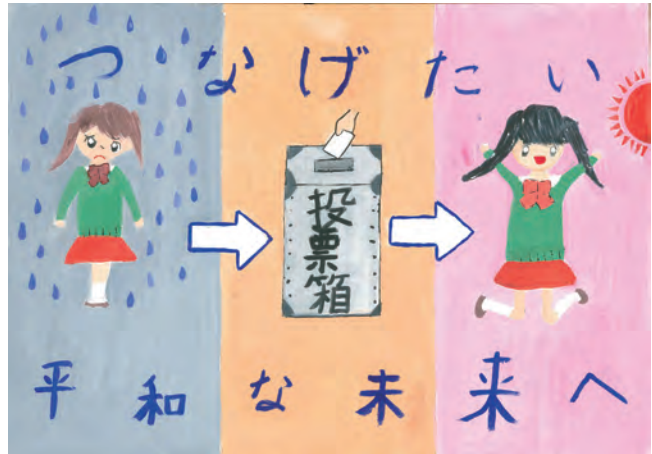


◆◆ 第74回 明るい選挙ポスターコンクール ◆◆



←区立東八郷小学校 5年生
樋口 創介さん

↓区立調布大塚小学校 3年生
栗木 美羽さん



たくさんのご応募
ありがとうございました!



選挙のめいすいくんの妹
めいちゃん



←区立大森東中学校 1年生
大和田 のどかさん



←都立つばさ総合高等学校 2年生
大崎 茜さん

毎年、総務省・都道府県・区市町村が将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を高め、政治意識の向上を図るために「明るい選挙」をテーマとしてポスター作品を募集しています。

令和4年度は、区内に在住・在学している小・中学生、高校生から291作品の応募をいただきました。学校関係者の皆様方の多大なるご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。

たくさんのご応募ありがとうございました。

7月10日執行 参議院議員選挙

令和4年7月10日の参議院議員選挙において、投票管理者・立会人を務めてくださった方に、選挙についてご感想をいただきました。
(原則、原文のまま掲載しております)

■大森南自治会 たなか かずえ 田中 和恵

今回、本庁舎において初日の期日前投票及び当日の投票管理者のお役目にお使い頂きました。コロナ渦の中で広報活動もままならず歯がゆい思いをしましたが、当日には子供さん連れや若い方も多くなったように見受けられました。締め切り時間19時台も途切れることなく投票がありました。しかし、皆さんも感じているように相変わらず若年層の選挙に対する関心の低調が続いております。税と選挙を学ぶ出前授業も、小中高校生に加えて、企業新人向けも如何でしょうか。オンライン利用の選挙啓発のデジタル化、ユーチューブスマホ利用等々、時代の変化と共に若者に向けての啓発活動をより進め、投票率を高めたいですね。トラブルもなく無事終わりました事、感謝です。投票率アップに向け地道な活動にしっかり取り組んでまいります。

■大森山谷自治会 たなか ひろまさ 田中 宏昌

7月8日(金)、今回の参議院議員選挙は、参議院と云うなじみの薄さ、新型コロナが猛威をふるう中であり、加えて大森西特別出張所が移転後の初めての選挙である為、投票者にとまどいがあり期日前投票の投票者は少ないのではないかと危惧しておりました。

会場は旧庁舎と違い、コラボ大森内ではあるが広いので投票しやすいと感じ一安心した。

投票主任に投票の動向をたずねた処、日曜日が一番多く前日は2番目で、471名であったと聞き投票者は比較的が多いなと感じました。投票管理者宣言を行い、管理者としての職務につきました。ピークは午前1回、昼ごろ、午後は3回、5時と、7時と8時にありました。本日の投票者総数は、513名で女性の方が多かったと感じました。今回は「投票済証」を下さいとの要求が多くあり、これをうまく活用する事で投票率を伸ばす方策の一助になるのではないかと思います。

■田園調布南町会 かたぎり よしひろ 片桐 義大

明るい選挙推進委員になって12年。有権者一人一人の投票で選ばれた議員で、世の中が変わる事を痛切に感じている今日この頃です。選挙のたびに若年層の投票率が何時も気になりますが、今回の参議院選挙の立会をして若年層の投票者数が多くなった事を感じました。選挙というと面倒くさい、一票を入れても変わらないと考えていた人が減少したと思われる。一票の大切さを感じてほしいと思います。

今回の選挙で投票率を上げようと選挙管理委員の苦勞も見えました。ある所では餅つき大会で餅を配って人を集めている所もありました。若年層の投票しやすいインターネット、携帯電話で投票が出来ればと思います。容易には進まないと思います。又、若者に投票に行けと言っても、若者は何を元に判断するのか戸惑いもあると思い、選挙や社会の仕組みを勉強し、自ら考え、政治への関心を持たせる教育も必要と思います。これからも投票率を上げる推進委員として頑張りたいと思います。

■大森南一丁目自治会 ひぐち としみ 樋口 敏美

7月の参議員選挙の立会人をやって感じた事、投票用紙記載台に貼られている立候補者名の文字が小さく、見えにくく改善が必要と感じました。

何度か立会人を経験しましたが、期日前投票の期間が長く、土日を含む3~4日程度にし、人件費等を削減しても良いのではないのでしょうか。拘束時間も長く高齢者には負担が大きいです。

インターネット投票や駅ナカ投票等、投票方法の改善を図る事も投票率を上げる為には必要ではと考えます。



■田園調布親睦会

もりた みつとし
森田 光俊

衆議院、都議、参議院、3回の選挙に立ち会って。毎回中々伸びない投票率、何が問題なのかについて考えました。

田園調布地区は特別出張所の1月移転に伴い、期日前投票会場が変更になりました。新会場は駐車スペース拡張、バリアフリー対応、空調設備刷新と投票環境は大きく改善、コロナ感染対策もあってか暑い季節乍ら期日前投票が増え、会場環境は大きな要素と感じました。投票日程決定は変動要素が大きく、有権者ライフスタイルの多様化から指定投票日の都合調整は難しくなっているのかもしれませんが。現状の期日前投票は特例ニュアンスが強く、当該期間が投票日として精神的負担を解消させる事は出来無いでしょうか。

若年層投票の低さが話題になりますが、選挙の仕組み議員職務が解らない為に興味や関心が薄いかもしれません。

本年から高等教育指導要綱見直しがあり、今後教育での改善が期待できます。候補者や政党の情報発信は従来の広報媒体以外の起用を検討し、若年世代への情報浸透策は必要と考えます。

■大森本町二丁目仲町会

いいだ みなこ

今回は、本庁・出張所と立会いをさせて頂き、如何ようかと安じつつ、現下のコロナ禍中、多様化したライフスタイルもあるので・・・

しかし来所者が従前より、増えているように感じ一安心致しました。

公民としての「権利・義務」行使・保障を、担保の「場」=『期日前投票』！貴重な民主的実践の一環→益々活用→要今後更に拡大！（故に）社会・世の中での理解/コンセンサスを受け、その時々ニーズに浴い応えられるような『共通投票所』の更なる設置をと考えれば、それに向けた法整備と財源が必要に、と思ひ至りました。”ダカラ！選挙-大事”

番外編 立会人同士の私語が「耳障り」と、ご指摘があったとのこと「自戒！」

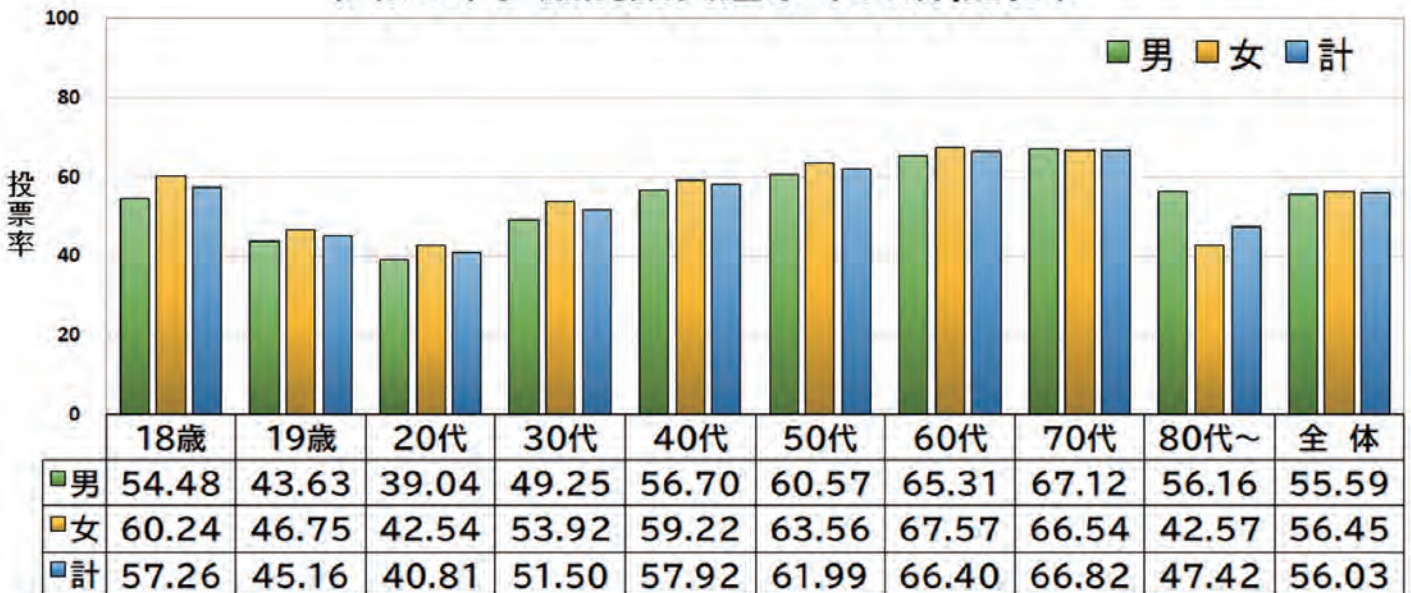
該当・心当りは ナシデスガ！[腕組み]サムイダケ！ とのことです！！寧ろ課題は、投票所のスペースが狭隘、業務が長時間に及ぶ。（基本1/2に）
：後日譚 当方が出張所へ出向いていることを承知来所とか？運命・奇縁！

究極的には、民意・投票率のアップを祈念するのみです。次回以降も頑張りましょう！



18歳は比較的投票率が高いですが、19歳と20代・30代は投票率が下がる傾向にあります。これはどの選挙でも共通して見られる傾向です。

令和4年参議院議員選挙年代別投票率



■嶺町町会 ふるかわ みきお 古川 幹夫

町会経由での依頼を受けて事前投票日の立会人を引き受けた。日曜日の投票は混雑する事が多いので、事前投票をする人が増えているようだ。投票者の都合の良い日時に投票できる利便性も合わせると今後更に拡大すると思われる。

そのような中で、年配者に比べて若年層の投票は相変わらず少ない。選挙推進協議会の資料では、20代が38%と最も少ないが、19歳の43%、18歳の54%と10代の投票率が以外に高い事に驚いた。30代の49%に比較しても18歳の54%は高く、教育現場での選挙教育の成果が実り始めていると感じた。選挙教育は進学や就職に直接結びつく物ではないが、自分なりに周囲を見つめ考える機会を与えてくれる。先程の資料では模擬投票も報告されていたが、高校での実施が少なく課題と感じた。誰に投票してよいか分からないとの声も聞くが、解決策を学ぶ良い機会にもなるであろう。次回選挙での10代の投票率が楽しみである。

■北栲谷町会 ほそだ やすあき 細田 泰昭

今回栲谷特別出張所で行われた参議院選挙（期日前投票）ですが、受付で投票用紙を渡す人や案内係、体の不自由な方の介助をする係の責任者の態度が非常に悪いのが気になりました。後で聞くと以前にも苦情が寄せられた人物のようでした。このような事例は事前の調査で対応できることなので今後は適切な人選をしていただきたい。このような人は二度と使わないでください。次に投票用紙記入のために置いてある立候補者のリストですが、余りにも字が小さくて見えないと投票者の方から多数の苦情が立会人に寄せられていました、私自身が見てもまったく読めない大きさでした、なぜ事前に対応をできなかったか非常に疑問に思います。繰り返し行われる選挙のたびに起こる問題点を次の選挙で改善していけるような素早い対応に期待します。最後に立会人の拘束についてです、長時間外出ができず近所のコンビニに買い物にも行けない状態です、どうにかならないでしょうか。

投票管理者・立会人は、投票が公正に行われているか、投票所内の秩序が保たれているかななどを監視・注意する役割を担っています。

選挙のめいすいくんの弟
ただしくん
(大田区パイロット ver.)



■田園調布会 かとう あつこ 加藤 厚子

明るい選挙推進委員となり、2期目を迎えました。令和2年の初任者研修会はコロナ禍で中止となり、いただいた資料の「明るい選挙推進の手引」を繰り返し読みました。

初めて推進委員として、令和2年7月5日投票日の都知事選挙、都議会議員補欠選挙の期日前投票の立会人を務めることができました。

当日は右も左も分からず、先輩の推進委員の方から、このような時にはこうしたら等と色々な先例で教えていただきました。

今日の参議院議員選挙では、期日前投票の管理者、立会人として従事いたしました。

有権者が投票所に入って来られた時から、投票用紙を投票箱に入れて帰られるまでの間、投票所内の雰囲気緊張ではなく、和むよう、気をつけて携わりたいと思います。

■羽田仲七町会 いとう あきひろ 伊東 昭弘

明選の会議に「ちょっと行ってきて！」と町会から頼まれ、委員として早十数年。年数は重ねても、まだまだ分からないことが多い中、今回は参議院議員選挙の期日前投票立会人を本庁舎で務めました。

今回の選挙投票率は、全体平均が52.05%で過去4番目の低い投票率でした。東京都は全国3位の56.55%市町村別でみると大田区は56.03%。今回最も投票率が高かったのは、宮崎県西米良村で88.15%でした。

投票をされない方を、いかにして選挙に興味を持ってもらい、投票所に足を運んでもらうにはどうしたら良いのかを考え、推進していきたいと思っています。

投票率のアップの課題はありますが、その一方で、お身体が不自由な方が車イスで投票に来られたり、不在者投票をされる方など、頭が下がる思いです。

これからも、貴重な一票を大切に思っただけできるようPRしていきたいと思っています。

◆◆ 区立学校等で模擬選挙を行いました ◆◆

↓ 小学校での選挙体験教室の様子



小学校では選挙に関するクイズを出すなど分かりやすく選挙を伝えるようにしています。

↓ 中学校での生徒会選挙の様子



中学校では、生徒会選挙の前に選挙に関する講話を行っています。

↓ 高校での模擬選挙の様子



令和4年度 主権者教育支援実施校 (予定を含む)

小学校	入新井第一、馬込第三、糀谷、小池	4校
中学校	大森第三、大森第十、石川台、出雲、蓮沼、六郷	6校
高等学校	大森(2回)、つばさ総合、蒲田女子	3校
特別支援学校	田園調布、城南	2校

【学校の先生方へ】
選挙体験教室のご相談は事務局まで!

みんなで投票。みんなで参加。
あなたの一票大切に



◆中学生が職場体験に来てくれました◆



■馬込東中学校 飯田 楓さん

今回体験を通して選挙はたくさんの準備と人がいるからこそできているものだと分かりました。準備も大変だと思いましたが、なにより集計が特に時間がかかり選管はよくやっているのだからいそがしいのだなと思いました。投票するにあたって覚えること、特殊な場合はやることも理解しなければいけないので難しいと思いました。倉庫に行った際は細かい物まで置いてあったり、一つ一つ分別したり確認したり疲れたけど楽しかったです。

■馬込東中学校 野邑 漣斗さん

職場体験を通して選挙管理委員会の方々の優しさに多く救われました。区役所内に関してくわしく教えてもらったり、移動の際に車を出してもらいました。仕事はつらいことも多くあるかもしれませんが3日間の職場体験は非常に楽しかったです。また、色々な選挙に関する知識を教えてもらいましたが、役に立つものばかりでした。3日間の貴重な時間を活かしてこれからの社会で活躍していきたいです。

■馬込東中学校 星野 大樹さん

僕は職場体験3日間行い、いろいろなことを学びました。1日目は大田区役所を見学しました。様々な課がありびっくりしました。そして課によってやっていることが全く違うので異動のときなどは大変だと言っていました。2日目は倉庫に行き選挙に必要な道具などを見せてもらいました。3日目は、選挙の仕組みなどを学びました。3日間の職場体験を通して僕は18才になったらきちんと選挙に行き自分の思いを伝えたいです。

←馬込東中の皆さん
(左から飯田さん、野邑さん、星野さん)

大森第十中の川原さん→



■大森第十中学校 川原 莉緒さん

私は今回の職場体験を選挙管理委員会事務局様で行わせていただき、またより選挙を身近に感じ選挙に興味を持ちました。

小さい頃から両親が投票する際についていってきた選挙のイメージと選挙管理委員会事務局の方々がお話する選挙はかなり違いました。しかし、皆さんが選挙のためにとても細かいところまで注意されているおかげで公正な選挙が守られているのだなと知りすごいと思いました。私も早く選挙に行きたいです。

■大森第十中学校 ゴードン 龍馬さん

僕は選挙管理委員会事務局で職場体験をし、選挙のすごさ、大切さを改めて感じる事が出来ました。僕は選挙管理委員会事務局で職場体験をさせてもらうまでは、選挙権は自分にはないからあまり関係ない、と思っていました。しかし、今回職場体験をさせてもらったことで、選挙の裏ではたくさんの人が大変な仕事をしていることに気が付き、選挙の大切さを知ることができました。今僕に選挙権は無いけれども選挙の大切さを忘れず選挙に行きたいです。



↑大森第十中のゴードンさん

中学生のみんな、
作業してくれて
ありがとう!



↑御園中のお二人 (左から星さん、工藤さん)

■御園中学校 星 竣士郎さん

僕は、初めての職場体験で、選挙について学びました。本物の選挙とはどういうものなのか全く知らなかったのが少し不安がありました。しかし、説明や仕事をしていくうちに、選挙についてもっと知りたいと思うようになりました。僕は、職員のみなさまの、ほんの1部しか出来ていないけど、この仕事を一生懸命やったときのやりがいを感じられて、人のために働くというのは、素晴らしいことだなと思いました。とても楽しかったです。

■御園中学校 工藤 大成さん

自分の中であらためて思ったことは、働いている人たちはすごいなと感じました。自分は2日間しか働いていないけどすごい量があってビックリしました。あと、働くというたのしさと苦勞を学べたのもいい経験でした。これからは、学んだ経験と働くというたのしさと苦勞を忘れずに自分の将来と向きっていきたいです。

選管のお仕事は、
手作業もたくさんあるんだね。

選挙のめいすいくんの妹
めいちゃん
(大田区CA ver.)



■大森第三中学校 河野 蒼太郎さん

今回、職場体験を通して、わかったことがあります。それは、選挙の仕事に、だいたいのことに、法律が関わっているということです。そのことから、公職選挙法があり、それで、勉強していることがわかりました。他に、倉庫の中にある、道具の点検や掲示板の立てかけなどをします。投票所では、記載台、投票箱や交付機の設定を定めるなどのことをします。今回の職場体験で自分の知らない世界や投票の意味が、わかって良かったです。

■大森第三中学校 遠藤 優斗さん

今回、職場体験として大田区選挙管理委員会事務局にきて1日目は選挙でつかう記載台の掃除をしました。汚れているところを、薬品をつけた雑巾でふいたりしました。2日目は投票箱の組み立て方や投票用紙交付機の設定方法や法律について勉強したりしました。3日目は申請書を四つ折りにする作業を何時間もしていたので結構大変でした。この3日間を通して選挙活動のことや法律のことなどを学びました。



↑大森第三中のお二人
(左から遠藤さん、河野さん)

OTAふれあいフェスタに出展しました

11月5日(土) 6日(日) に、平和島ポートレース場、平和島公園の2エリアにおいて3年ぶりの開催となり、大田区明るい選挙推進協議会も出展いたしました。今年は「大田区キャラクター選挙」！たくさんの候補者の中から「どのキャラクターが好きか」を選び、来場者のみなさんに1票を投じてもらいました。たくさんの投票、ありがとうございました！



キャラクター選挙開票結果

投票者数 2,790 人、開票率 100%、無効票 7 票

候補者氏名	得票数
 めいすい	170
 ぴおたん	302
 はねぴょん	1,764
 大根ちゃま	369
 オーちゃん	178

令和5年4月23日(日)は 統一地方選挙の予定です

任期満了を迎える大田区議会議員・大田区長選挙が、令和5年4月23日(日)に行われる予定です。

前回の投票率は、大田区議会議員選挙が全体で42.74%、大田区長選挙は全体で42.73%でした。

選挙公報や公営ポスター掲示場などで、各候補の顔ぶれ等をチェックしていただき、ぜひ投票所にお越しください。

明るい選挙推進協議会とは

大田区における明るい選挙推進運動に取り組む組織です。「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚をもって進んで投票に参加し、選挙が公正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。そして、これを進めるための運動を「明るい選挙推進運動」と言います。

この運動の目的は、

- ①選挙違反のない選挙を行うこと
- ②有権者が投票に参加すること
- ③有権者が常日頃から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこととされています。

明るい選挙運動のあゆみは、昭和26年に行われた第2回統一地方選挙で選挙違反が横行し、翌年に予想されていた衆議院議員選挙に向けて激しい事前運動が行われたことから始まりました。しかし、その後も政治不信をもたらすような選挙違反はなくなったわけではありません。

また、近年実施されたいずれの選挙においても、投票率の低迷が続いており、とりわけ若年層の投票率は低く憂慮すべき問題となっています。

明るい選挙推進運動は、有権者が常日頃から政治と選挙に深い関心と高い意識をもち、投票参加と選挙違反のないきれいな選挙の実現を目標としています。

明るい選挙推進委員は、都と区市町村の明るい選挙推進協議会から委嘱された方々です。選挙管理委員会の事業をボランティアでサポートしており、現在都内では約4,300人の推進委員が活動しています。



総務省「明るい選挙の推進」のページ
https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo09.html

公益財団法人
 明るい選挙推進協会のページ
<http://www.akaruisenkyo.or.jp/>



編集委員		
協議会副会長	福井 省三	(大森西地区)
	// 世良田 光代	(田園調布地区)
	// 横山 智恵子	(蒲田西地区)
協議会委員	岡本 勝子	(池上地区)
	// 西條 誠一	(新井宿地区)
	// 飯田 幸男	(久が原地区)
	// 藤沢 マチ子	(雪谷地区)
	// 細田 泰昭	(糀谷地区)

発行 大田区明るい選挙推進協議会
 大田区蒲田五丁目13番14号
 電話 03-5744-1464